

平成30年度各会計決算の審査が行われました。

9月20日より10月2日の間計7日間にわたり審査が行われました。私からは以下の質疑を行った。

教育費では

性教育に関して問う。「行動の制限」「精神的暴力」「経済的暴力」「身体的暴力」「性的暴力」等々が伴う「デートDV」は交際の経験のある、中学生を含む10代女性の約44%が経験があるとされています。様々な場面で、様々な理由でこのような状態になる。

性に対して無頓着なのか、知識不足なのか、私どもが思う以上問題が大きくなっているようです。いまや都教委の避妊や人工妊娠中絶など学習指導要領で示されていない内容を性教育として授業で扱いべき時代に来ている。その見解を問う。答弁は都教委は年度内に性教育の手引き書を改定する。それを待つとのことであった。

土木費では

先の防災対策特別委員会席上、ブロック塀の倒壊防止のため、補助金制度を作り耐震不足のブロック塀の改修促進を図るべきとの私からの指摘を受け補助金制度を創設することとなりました。しかし各世帯の実情を見ると今少し補助制度の拡充を図るべきである戸の指摘に、検討を加えるとのこととなったがこれからも担当部局と意見の交換をいたし制度の改善を図ります。

地域の再開発に当たっては、開発業者の都合で振り回されることなく、近隣の現況・近未来の状況も勘案し広域エリアのバランスを考慮し、北区として主体性を失うことなく都市開発を誘導すべきとの指摘をした。

福祉費では

健康増進センターの今後のあり方については、単に個人の健康保持・増進のみに偏らず、人生100年時代を見据え、70歳台の高齢者も労働人口として捉え、就労を目指すスキルアップのカリキュラムを組むべきとの指摘をし健康増進センターのあり方検討を早急にすべきとの議論を展開した。

災害戸別受信機を高年齢者世帯に無償で全戸配置すべきとの指摘もした。その他、建築物耐震化へ向けての議論、財調制度の対応、コミュニティボンドの採用、見守り事業に対して等々に質疑を重ねました。

町中の彫塑

北区内には様々な彫塑が道路脇・石神井川遊歩道・北トピア・飛鳥山公園・駅前などに設置されています。

右の写真は近所に設置されている彫塑の一部です。朝方の散策も楽しくなりますよ。



平成30年度歳出から見ると

- ① 防災・減災対策については
不燃化特区内木造住宅居住者に対する感震ブレイカーの無料配布の実施。
避難所機能強化の為に、全福祉避難所への自動ラップ式トイレの配備。
家屋被害の認定調査や、り災証明書の発行などを行う「被災者生活再建支援システム」構築
水害・土砂災害対策に石神井川の水位・雨量観測システムと同報系防災無線を連動させるシステムの改修。荒川が氾濫した場合の洪水ハザードマップの全戸配布。
- ② 空き家対策
- ③ 感染症媒介蚊対策
- ④ 障害者福祉には、障害者支援の拡充（身体障害者緊急通報システムのオプションとして安否確認センサーの導入）
- ⑤ 認知症初期集中支援体制の充実
- ⑥ 地域見守り、支え合い活動の推進
- ⑦ 産前、産後の負担軽減や育児不安の解消
- ⑧ 生活困窮者自立支援
- ⑨ 商店街の活性化
- ⑩ 鉄道駅エレベーター等の設計
北赤羽駅と駒込駅のエレベーターの設計
- ⑪ シティプロモーションの推進
- ⑫ 放課後子ども総合プランの推進
平成30年度・・なでしこ小・梅木小・谷端小・滝野川もみじ小・田端小の5校に導入した。
など様々な分野での施策が推進実現しました。

教育勅語

久しく聞かなかった「教育勅語」

安倍新内閣で文科省新大臣より就任会見の席上「教育勅語にはアレンジして道徳に使える普遍性がある」として発議した。中身の一部に我々もそうだなと思う部分も含まれているがやはり全体的には現在の教育に持ち込むことには違和感を覚えます。かなりびっくりした。なぜ今時の発議か。日を改めた席上「教育は憲法・教育基本法の趣旨を踏まえて学習指導要領に沿った形で行わなければならない。判断は学校現場がすることだ。」と説明したとの発言が新聞記事に掲載されていた。それでは「教育は学校教育法の趣旨を踏まえて・・・・判断は学校現場がすることだ。」の発言を見ると「学校指導要領にないことは駄目だ」ともとれるし、または就任会見の発議は学校指導要領はそれとして通知を出すぞ・・・・だから後の判断は学校現場の判断だ・・・・とするともとれる発言だ。ひよとすると憲法改正案の中に教育勅語相当のものを含ませようとしているのか大変不安に駆られるのは私だけではないと思います。

水没

赤羽北1丁目道路上等の電柱に掲示されています
すでに配布されたハザードマップを改めて見て下さい。



ひとりで悩むその前に
教育・福祉・生活相談は

池田ひろ一 北区赤羽北1-3-1

tel 3907-0669 fax 3907-0943

H P : <http://www.ikedahiroichi.jp>

Email fukurou@ikedahiroichi.jp